

令和3年度総合文化センター自主事業実績一覧

1 鑑賞系事業(主催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	入場者数(人)
1 【室内楽】 古楽器アンサンブル 東京コンソーツ	7月1日(木)	iichiko 音の泉ホール	フォルテピアノ、バロックオーボエ、バロッククラリネット、ナチュラルホルン、ファゴットによる五重奏の演奏会。近年、作曲家が作曲した当時の楽器と演奏方法の徹底した研究によって、主にバロック、18世紀の古典時代の楽曲演奏に大きな変化が生まれている。今回は、モーツァルトとベートーヴェンの楽曲を中心に、その当時の音色や雰囲気をも再現した。	251
2 【演劇】 かがみまどとびら	7月29日(木)	iichiko グランシアタ	親子で観ていただくため、「鏡」「窓」「扉」という子どもたちに身近なモチーフから物語に入り、観客も想像力をはたらかせながら演劇を楽しんでいた。午前と午後の2回公演。	午前 77 午後 66
3 【室内楽】 サンリオファミリークラシック 「リボンの国の音もだち」	8月9日(月)	iichiko グランシアタ	大分県立美術館の企画展「サンリオ展～ニッポンのカワイイ文化60年史～」の会期中に関連企画として開催。	午前 614 午後 491
4 【室内楽】 iichiko presents 音楽の絵本チェンバーオーケストラ	9月20日(月)	iichiko グランシアタ	クラシック音楽における絵本の役割を果たすべく結成された楽団。動物の格好をした演奏者がクラシックから童謡まで、子どもたちにも理解できるようなプログラム構成で演奏。	808
5 【室内楽】 iichiko presents 三浦一馬キンテート 熱狂のタンゴ	10月7日(木)	iichiko グランシアタ	バンドネオン界・タンゴ界の若きスター・三浦一馬と、神奈川フィルの石田泰尚ら現代音楽界を代表するアーティストたちとで編成された五重奏グループ・キンテートによる熱狂のタンゴのコンサート。クラシックタンゴの巨匠・ピアソラの生誕100年を記念し実施。	597
6 【室内楽】 アレクサンドロ・ベヴェラリ クラリネットリサイタル	10月15日(金)	iichiko グランシアタ	世界で最も権威のある三大コンクールのひとつチャイコフスキー国際コンクールをはじめ、数多くの国際的コンクールで賞を受賞しているイタリア出身のクラリネット界の若きスターによるリサイタル。2021年に没後100年を迎えたフランスの作曲家サン＝サーンスのクラリネットソナタなど、クラリネットの名曲の数々を演奏。	380
7 【室内楽】 諏訪内晶子 無伴奏ヴァイオリンリサイタル	10月20日(水)	iichiko グランシアタ	大分県民から絶大な人気を誇る諏訪内晶子による無伴奏のリサイタル。J.S.バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとバルティータを演奏。令和2年度ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団のソリストとして来県予定であったが、公演が中止となったため、その代替公演としての位置づけで実施。	780
8 【室内楽】 iichiko presents フルートアンサンブル マグナムトリオ	11月7日(日)	iichiko グランシアタ	通常のフルートに加えてアルトやバス、コントラバスフルートなどを使い、様々な特殊奏法や超絶技巧を駆使し、メンバーの作・編曲によるオリジナル作品を中心に演奏した。	305
9 【音楽劇】 天正遣欧少年使節の物語	11月28日(日)	iichiko 音の泉ホール	古楽アンサンブル「アントネッロ」の演奏に、中世の歌曲を組み合わせて、4名の歌手が大分県にゆかりのある天正遣欧少年使節の物語を上演。当初、県民有志による合唱団を編成し、大分特別版を上演する予定であったが、全国的に感染者が急増。特に合唱団体によるクラスターが発生していたため、編成を断念。アントネッロのみによる演出により上演した。	202
10 【バレエ】 東京バレエ団『くるみ割り人形』	12月19日(日)	iichiko グランシアタ	チャコフスキーの三大バレエの一つで、クリスマスのプレゼントで贈られた『くるみ割り人形』を題材にしたもの。演じる東京バレエ団は、50年を超える歴史を持ち、国内は勿論、海外公演も行うグローバルな活躍をみせる。今回の上演は令和元年12月に東京バレエ団芸術監督・斎藤由佳理氏により新制作されたものの再演で生オーケストラにて上演し、満席となった。	1,658
11 【室内楽】 小林道夫チェンバロリサイタル第5章	【延期】 1月30日(日)	iichiko 音の泉ホール	J.S.バッハの楽曲を、バロック音楽の大家・小林道夫氏によるチェンバロで演奏する。小林道夫氏の腕の故障により、延期となった。	延期
12 【声楽】 iichiko presents 森麻季 音の美術館 イタリア 美への旅路	2月6日(日)	iichiko 音の泉ホール	ホールの巨大スクリーンにイタリア名画の数々を映し出し、それにまつわる物語をテーマとした珠玉の名曲を日本を代表するソプラノ森麻季が美しい語りとともに歌った。1月22日に発生した地震の施設被害により、急遽グランシアタから音の泉ホールへ会場を変更して開催した。	377
13 【室内楽】 おんがくのアーティスト インレジデンス ファイナルコンサート	2月27日(日)	iichiko 音の泉ホール	練習室、宿泊施設がホールと直結する当センターの強みを活かした滞在制作公演。大分県出身のアーティストが大分に滞在し、期間中、楽曲の公開リハーサルやアウトリーチなどを集中的に実施した。最終日にその集大成として音の泉ホールでコンサートを実施。	264
14 【オーケストラ】 iichikoグランシアタ ジュニアオーケストラ 第13回定期演奏会	3月21日(月)	iichiko グランシアタ	指揮者に清水麗輝氏をお招きし、ハチャトゥリアンのバレエ音楽『ガイーン』やエルガーの威風堂々などを演奏。また、日田市出身のチェリスト・宇野健太氏とジュニアオーケストラ初となるチェロ協奏曲に挑戦。当初、威風堂々では、アルカスSASEBOジュニアオーケストラとの共演を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況により、合同演奏を断念。単独での演奏となった。	617

令和3年度総合文化センター自主事業実績一覧

2 鑑賞系事業(共催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	入場者(人)
1 第22回別府アルゲリッチ音楽祭 室内楽コンサート～80歳を祝して	【中止】 5月22日(土)	iichiko グランシアタ	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	中止
2 第22回別府アルゲリッチ音楽祭 藤田真央ピアノリサイタル	【中止】 6月22日(火)	iichiko グランシアタ	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	中止
3 劇団四季『The Bridge ～夢の架け橋～』	6月29日(火)	iichiko グランシアタ	劇団四季が創立68周年を迎え、困難な時代を乗り切る活力と明日への架け橋になりたいという強い思いを込めたオリジナルの新作ミュージカル。これまでのミュージカルの作品を交えて過去から未来へと繋がる思いを29曲の楽曲で繋いだ。	695
4 日露交歓コンサート	9月17日(金)	iichiko グランシアタ	世界三大音楽院のひとつチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院の卒業生等の国際的な音楽家によるコンサート。プログラムはチャイコフスキーの白鳥の湖やストラヴィンスキーのペトルーシユカ等。主催:(公社)国際音楽交流協会	315
5 大分二期会10周年記念 オペラ『カルメン』	10月2日(土) 10月3日(日)	iichiko グランシアタ	世界的に上演回数が多く、最も人気の高い作品である『カルメン』を、岩田達宗氏の演出により、大分二期会の若手・ベテラン演奏家だけでなく、フルオーケストラやバレエ、児童合唱など他分野の芸術団体ともコラボレーションした大規模な公演。	925
6 大分県立芸術文化短期大学 第57回定期演奏会	10月10日(日)	iichiko グランシアタ	学生から選抜された3名のピアニストによるオーケストラの楽曲のほか、合唱曲として佐藤真作曲の混声合唱とオーケストラのためのカンタータ「土の歌」などを演奏した。	670
7 アルゲリッチの日制定記念 川本嘉子 with 阪田知樹 ヴィオラの世界への誘い	10月24日(日)	iichiko 音の泉ホール	大分県が6月5日を「マルタ・アルゲリッチの日」に制定したことを記念した公演。世界的に活躍する川本嘉子氏と阪田知樹氏が、クライスラーやシューマンの楽曲をトークを交えながら演奏した。	185
8 ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会2021～	11月23日(火)	iichiko グランシアタ	メイン演出『リメンバー・ミー』を中心に、ディズニーのアニメーションや映画、テーマパークの名曲を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏にて、映像と共に上演した。主催:OBS大分放送	1,087
9 サントペテルブルク室内合奏団	12月7日(火)	iichiko 音の泉ホール	ロシアだけでなく世界各地で活躍するアーティストを集めた合奏団による21回目となる来日コンサート。弦楽合奏を中心にソプラノやハープが加わるクリスマスコンサート、三大アヴェマリア(パッサ、シューベルト、カッチーニ)などの名曲を演奏。主催:光藍社	144
10 大分第九のタベ「歌声を未来へ」	12月12日(日)	iichiko グランシアタ	県民芸術文化祭の閉幕行事。例年どおりの「第九」演奏会は中止して、来年以降へ繋がる「第九」機運を盛り上げる演奏会と位置づけ実施。2部構成として、第1部ではおおいの第九を歌う会会員有志約50人による合唱やソプラノ歌手の木下美穂子氏の公演。第2部で「第九」第4章のDVD上映会を実施。	560
11 日本フィルハーモニー交響楽団 第47回九州ツアー	2月22日(火)	iichiko グランシアタ	毎年恒例の九州ツアー。前年度はコロナによりライブビューイング形式であったため、2年ぶりの開催。指揮は永峰大輔。プログラムはシベリウス/交響詩『フィンランディア』、メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲(ソロ・神尾真由子)、ベートーヴェン/交響曲第5番『運命』。	888

3 人材育成事業(主催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	参加者(人)
1 【オーケストラ】 ジュニアオーケストラ育成事業	通年		当センターのホール付属で県内唯一の子ども達によるジュニアオーケストラの運営を行った。練習日は毎月第2、第4日曜日で場所はiichiko Space Beで行った。芸術監督は川瀬麻由美氏、音楽監督は高田喜夫氏。令和3年度特別講師はアレクサンドロ・ベヴェラリ氏、水谷晃氏、長石篤志氏、宇野健太氏。	在籍団員 47 アカデミー 15
2 ホールレセプションist育成事業	基礎研修 6月24-26日(木-土) フォローアップ研修 9月12日(日)、29日(水)		角屋里子氏による基礎研修では新規採用スタッフを中心に接遇研修のほか、コロナ予防対策研修を行った。フォローアップ研修ではベテランスタッフ3名が講師となり、基礎研修の復習や新規スタッフの不安な部分を重点的に強化する内容とした。活動は新型コロナウイルス感染拡大の中であったが、財団が主催・共催する公演等を中心に、レセプションistとして61回、延べ592人の参加により積極的な活動を行った。	登録者 48
3 演奏家派遣事業 派遣アーティスト研修事業	1次研修 8月4-5日(水-木) 2次研修 8月25-26日(水-木)		本年度は登録アーティストを新たに公募し、オーディションと研修を実施した。講師は地域創造プロデューサーの児玉真氏と地域創造おんかつ登録アーティストの海野幹雄氏。 ・1次研修 アウトリーチの基礎を学ぶ座学と模擬アウトリーチ体験 ・2次研修 プログラムの制作とトランスルー	1次 18 2次 18
4 大分県中高校生芸術文化祭 ミラ☆スタ	12月11日(土)	iichiko 音の泉ホール	大分県内の中学校、高等学校の芸術文化活動の成果を、広く県民に披露する機会を設けた(9回目の開催)。 ・ジャンル 吹奏楽、伝統芸能、ダンス、合唱 ・出演校 7校(城東中学校、南大分中学校、明野中学校、上野丘高校、舞鶴高校、豊府高校、由布高校)	来場者 674

令和3年度総合文化センター自主事業実績一覧

4 普及啓発事業(主催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	入場者、参加者(人)
1 ワンコインリレーコンサート オペラ『リタ』	5月29日(土)	iichiko 音の泉ホール	大分市出身の嘉目真木子氏や大分県立芸術文化短期大学卒業の押川浩士氏などが主演。日本語字幕には随所に大分弁を織り込み、焼酎iichikoを小道具に使うなど、コミカルな中にも本物のオペラの素晴らしさをに盛り込んだ公演。あわせて手話通訳や要約筆記などの鑑賞支援を実施。	258
2 古楽器レクチャー	6月30日(水)	iichiko SpaceBe リハーサル室	東京コンソーツの今瀬康夫氏をはじめとしたメンバーによる7月1日公演の事前レクチャー。楽器が制作されたバートーベンやモーツァルトの時代の歴史を簡潔に紹介したり、古楽器と現代楽器の構造上の違いや進化の流れなどを説明するなど、初心者にも愛好者にも配慮した楽しく親しみやすい内容のレクチャーであった。	48
3 かがみまどとびら 演劇体験ワークショップ	7月28日(水)	iichiko SpaceBe 大練習室	マームとジプシーの藤田貴大氏が講師となり、子どもたちの自宅からセンターまでの行程を床下にビニールテープで貼り付けて地図を作成。日常生活の中での事象を取り入れながら、ストーリーを作り上げる表現のワークショップを実施。	5
4 ジュニアオーケストラフェスティバル	7月30-31日 (金-土)	iichiko グランシアタ	ジュニアオーケストラの活動を広く知ってもらうため、フェスティバルを開催。初心者対象の楽器紹介や楽器体験では団員が指導し、経験者には講師によるレッスン体験などを実施。2日目には団員と参加者が一緒にステージに立ち、威風堂々を演奏した。	参加者 87 来場者 421
5 ミュージカル体験ワークショップ	8月6~9日 (金~月)	iichiko SpaceBe リハーサル室	ミュージカルの普及を目的に有名ブロードウェイ作品のナンバーを歌って踊る初心者を対象としたワークショップ。小学生の部、中高大学生の部、大人の部の3部門。最終日にはアトリウムプラザで成果披露の発表会を行った。	小中高大 33 一般 19
6 西洋音楽史レクチャー	8月25日(水) 9月29日(水) 11月10日(水)	大分県立 美術館	ビジネスマン向けに分かりやすく音楽の教養講座を開催した。西洋音楽の歴史について学ぶことができる講座を3回シリーズで開催。講師は松田亜有子氏。	25 35 28
7 アトリウム遊園地	【中止】 9月11日(土)	iichiko アトリウムプラザ	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	中止
8 ワンコインリレーコンサート びわ湖ホール声楽アンサンブル	9月15日(水)	iichiko 音の泉ホール	びわ湖ホール独自の創造活動の核としてびわ湖ホール開館の1998年3月に設立された日本初の公共ホール専属声楽家集団による大分公演。大分県出身の渡辺玲美氏など男女8人で編成。昼夜2回公演	昼 253 夜 149
9 青島広志おしゃべりバリエティックコンサート	10月26日(火)	iichiko 音の泉ホール	12月19日に当会館で開催する東京バレエ団『くるみ割り人形』をより楽しむための事前レクチャー。作品の見どころや楽曲に関する解説はもちろん、演出や衣装・舞台装置について青島氏と東京バレエ団プリンシパル・沖香菜子氏のトーク交えて紹介した。	216
10 身近なものがフルートに？ ちくわ、コップで曲を吹いてみよう！	11月6日(土)	iichiko SpaceBe リハーサル室	小学1年生～中学3年生対象。普段口になっているちくわやコップなど、身近なものをフルートの奏法を用いて音を鳴らすことで音楽への興味・関心を高めるワークショップ。講師は多久潤一朗氏。	24
11 フルート特殊奏法道場	11月6日(土)	iichiko SpaceBe リハーサル室	フルート経験者対象。様々な特殊奏法を学ぶことで、日々の基礎技術を見直すきっかけとなる講座。講師は多久潤一朗氏。	33
12 チェンバロレクチャー	11月20日(土)	iichiko SpaceBe リハーサル室	1月30日の開催予定のチェンバロリサイタルの事前レクチャー。小林道夫氏が講師となり、本公演で演奏する楽曲や作曲家J.S.バッハについて、公演で実際に使用するチェンバロを演奏しながら、わかりやすく解説。	48
13 チャイコフスキーレクチャー	12月9日(木)	iichiko 音の泉ホール	12月19日(日)開催の『くるみ割り人形』の作曲者であるチャイコフスキーに焦点を当てた講座を実施。講師は大分県立芸術文化短期大学の森口真司教授。	72
14 ワンコインリレーコンサート 蓮沼執太フィル	12月14日(火)	iichiko 音の泉ホール	横尾忠則氏が蓮沼執太フィルがリリースした2020年のアルバムのアートワークを手掛けたことから大分県立美術館の企画展「GENKYO 横尾忠則」関連企画として開催。	昼 382 夜 392
15 中世音楽レクチャー	1月12日(水)	大分県立 美術館	ビジネスマン向けに分かりやすく音楽の教養講座を開催した。大友宗麟の時代の中世の西洋音楽の歴史について特別講座を開催。講師は岡田暁生氏。	22
16 歌舞伎教養講座	1月22日(土)	iichiko SpaceBe リハーサル室	毎年、グランシアタで開催されている歌舞伎公演の見どころを解説するレクチャーを実施。歌舞伎の全国巡業が中止となっているため、歌舞伎全般に関する教養や知識が高まる入門講座を開催。講師は葛西聖司氏。	午前 37 午後 43
17 おんがくのアーティスト インレジデンス 公開リハーサル I～IV アウトリーチ・ミニコンサート等 I～VI	2月21～26日 (月～土)	iichiko 音の泉ホール	当センター初の試みであるアーティストがホールに滞在し、音楽活動を展開する事業。全4回の公開リハーサルでは毎回それぞれ50名程度来場した。また、小学生招待公演、中学高校へのアウトリーチ、大分県立図書館などでのミニコンサートを通じ、幅広い世代に音楽を届けた。	公開リハーサル 167 ミニコンサート等 592
18 演奏家派遣事業	通年	18件	日頃クラシック音楽に触れることの少ない人々に、オーディションを通過し、研修を終えた大分県にゆかりのある若手演奏家を派遣し、生のクラシック音楽とその魅力をお届けした。(ピアノ、声楽、弦楽器、管楽器、打楽器、アンサンブル)	979